

御前山ビオトープ通信

平成24年9月25日

第38号

発行：御前山ダム環境センター

編集：NPO「美しい田園21」清野

メール：denen21@hb.tp1.jpホームページ：<http://w01.tp1.jp/~a071771011/>

【案内図】



目次

1. 第2回育成活動：御前山ダム周辺整備
2. ビオトープ 田んぼで子供達の稲刈り

1. 第2回育成活動：御前山ダム周辺整備

6月19日(火)は珍しく台風4号が近づいているとのことでしたが、午前中は大丈夫と判断し、予定通りに御前山ダム周辺整備作業を行うこととしました。当日は集合時間前に地元関係者、支援NPOなど約50名が集合し、ダム管理所前で挨拶、作業説明の後、早速2班に別れて作業を開始しました。

ダム直下広場に子供達と植栽したエノキや山桜は順調に成長しており、一時間ほどで周辺の草取りを終わりきれいになりました。

一方、ダム湖対岸の半島部に植栽した山桜は草が背丈以上に繁茂した箇所もあり、面積も広く大変でした。刈り払い機を増員して全員汗だくになりながら何とか完了し、苗木と名板も見えるようになりました。当初は7月でもいいのではとの考えもありましたが、今回早めに草刈をやってよかったと思いました。

11時頃から、順次ビオトープに移動し、選抜草抜き作業です。こちら希少植物(タコノアシ、アギナシ)が雑草に埋もれており、何処から作業すればいいか解らないような状況でしたが、担当者から現場での見分け方や作業方法の説明があり、一斉にとりかかりました。

当初は間違っって希少種まで引抜いてしまわないかと戸惑いましたが、慣れてくると幼苗まで見分けられるようになり、人数が多いので一時間足らずで作業を終了することが出来

ました。林間のフタバアオイ、イヌショウマも立派な群落を形成しており、まさしくビオトープの順応的管理(アダプティブマネジメント)が順調



ダム湖対岸広場の草刈

開会挨拶と作業説明



ダム直下の草とり



に進められており、多くのボランティアの皆さんに感謝感謝です。昼食は地元の婦人の皆さんがバーベ



アギナシ周辺の選抜草抜



タコノアシの移植

キューセットを持ち出して、焼肉、焼きそばなどを用意してくれて、蒸し暑いなか汗をかいた後でしたが、ビオトープの涼しい風を感じながらおいしく頂きました。

2. ビオトープ田んぼで子供達の稲刈り

9月25日(火)、今日は御前山ダム環境センターの後半の主要活動である地元住民と御前山小学校5年生によるビオトープ田んぼの稲刈り作業です。昨夜の天気予報では雨天の様子でしたが雲が切れてきて一日持ちそうです。9月末の御前山ビオトープは実った稲と紫のツリフネソウが私達を歓迎してくれました。

朝8時頃より熱心な桧山集落の皆さん、環境センターの役員が集まり、9時頃までに足元の悪い場所やオダ掛けの場所が刈り取られ準備が進められました。

9時半頃には御前山小学校の5年生約30名が校長先生の誘導で元気に到着しました。

早速、桧山自治会滝田副会長の進行により、区長、会長、校長の挨拶・説明があり、3班に分かれ、桧山地区の皆さんの指導を受けながら稲刈り作業が始まりました。

子供達の中には10人ほど稲刈り作業を経験した児童もいたようで、予定通り1時間ほどで終わりました。地元の方でオダ作り、オダ掛け、ビニルシートで覆い作業完了です。作業中、泥だらけの手でつかんだアカハライモリ、アカガエルやサワガニなどに大きな歓声をあげながら楽しい活動となりました。

心配された雨もなく、参加者全員の記念撮影を行い無事終了としました。

時間的に余裕があったので、大曾根校長先生の提案によりナガエミクリ、タコノアシ、アギナシやアサザなどの稀少植物を見て廻りました。昼食後、子供達から御礼の挨拶があり、参加者全員豊作と天の恵みに感謝しながら本年度の稲刈り作業が終了しました。



開会挨拶と作業説明



子供達の稲刈り



もう一息です